



福島県相馬市へ支援物資提供 (10月15日)

福島県相馬市へ届けるための支援物資積み込み作業を行いました。相馬市とは災害時相互支援協定を締結しています。提供物資は飲料水で、2ℓ6本入りが220箱と300ml24本入り50箱で、合計3,000ℓです。支援物資は、翌日の早朝に相馬市に渡されました。相馬市では現在も復旧作業が続いています。

千歳飴1,000本を寄贈 (10月16日)

株式会社不二家が、市内の幼稚園・保育園に通う5歳児へ「この飴は市内で作られていることを伝えてほしいです。地元の産業に興味を持ってくれると嬉しいです」と千歳飴を贈呈しました。市長は「子どもたちの喜ぶ姿が目に浮かびます」とお礼を述べました。園児には七五三行事の際に配布されます。



「元気に育ってね」幼稚園児26人が協力 (10月17日)

アマゴの放流が深良川の新深良橋付近で行われました。これは、河川美化活動の一環として毎年行われているもので、17回目になります。今年は千福が丘ひかり幼稚園の園児26人が、3匹ずつ取り分けたアマゴを川岸に3人1組に並んで放流しました。園児たちは「元気に育ってね」と声を掛けていました。

VRと動画で深良用水の隧道内部を解説 (10月20日)

深良用水の世界かんがい施設登録5周年を記念し、記念講演が開催されました。この日は、小型カメラを搭載した無人ボートを使い、沼津高専の生徒が撮影した深良用水隧道内部の映像や、スマートフォンを使ったVR（立体映像）の説明がありました。聴講した人は、立体模型やジオラマを前にして、深良用水の歴史に理解を深めていました。 特派員：小林 建次





熱い声援を受けてつなげ母校のタスキ (10月19日)

小雨の降る中、中学駅伝東部地区予選会が運動公園で繰り広げられました。出場チームは女子25校・男子28校です。始めに女子の部がスタートし、続けて男子の部が熱戦を繰り広げました。それぞれ8位まで県大会への出場権が与えられます。女子は御殿場中学校、男子は富岡中学校が優勝を勝ち取りました。

特派員：中村 隆司

産業の出展ブースが大盛況 (10月19・20日)

市民文化センターを会場に市民のふれあいフェスタとその消費生活展が開催されました。フェスタでは、恒例のハロウィンマルシェが開かれました。裾野高校や不二聖心女子学院の皆さんがボランティアスタッフとなって運営をサポートしていました。どこのブースも大勢の来場者でにぎわっていました。



初期消火の速さと技術を競う (10月23日)

消火技術競技大会が裾野消防署で開催され、市内の18事業所が参加しました。どのチームの指揮者も、大声で的確に指示を出していました。消防署への通報、避難路の確保などを迅速に行い、手際のよい初期消火活動を披露し、観客から大きな拍手があがっていました。

市の将来のまちづくりについて語り合う (10月29日)

市役所で裾野高校とイブニング・ダイアログを開催しました。第5次裾野市総合計画の策定にあたり、若い世代の率直な意見を聴き計画策定に生かそうというのが狙いです。高校生6人が参加し、市長、副市長らと自由な対話が行われました。限られた時間でしたが、市と高校との連携についてなど参考となるものも多く、良い刺激を受けました。

